



## 2020年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月8日

上場会社名 コーア商事ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9273 URL <https://www.koashoji-hd.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 首藤 利幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長 (氏名) 小松 美代子 TEL 045 (560) 6607  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年6月期第1四半期の連結業績（2019年7月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	2,881	△8.8	107	△31.1	123	△19.8	57	△8.7
2019年6月期第1四半期	3,161	—	156	—	153	—	62	—

(注) 包括利益 2020年6月期第1四半期 54百万円 (△29.0%) 2019年6月期第1四半期 77百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	5.80	—
2019年6月期第1四半期	6.35	—

(注) 1. 当社は、2018年6月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年6月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。  
 2. 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 3. 当社は、2018年11月6日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第1四半期	20,296	13,226	65.2
2019年6月期	22,088	13,409	60.7

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 13,226百万円 2019年6月期 13,409百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2020年6月期	—	—	—	—	—
2020年6月期（予想）	—	0.00	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年6月期の連結業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	△1.4	1,300	7.4	1,310	2.6	850	30.0	85.82

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期1 Q	9,904,995株	2019年6月期	9,904,995株
② 期末自己株式数	2020年6月期1 Q	275株	2019年6月期	275株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期1 Q	9,904,720株	2019年6月期1 Q	9,904,825株

（注）当社は、2018年11月6日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、アメリカと中国との貿易摩擦による世界経済減速が懸念されるものの、国内では雇用所得環境の改善が続いているなど緩やかに推移しました。

後発医薬品業界におきましては、2025年には5人に1人が75歳以上になるという「2025年問題」を控え、「経済財政運営と改革の基本方針2019～『令和』新時代：『Society5.0』への挑戦～」(骨太方針2019)でも「後発医薬品の使用促進について、安定供給や品質の更なる信頼性確保を図りつつ、2020年9月までの後発医薬品使用割合80%の実現に向け、インセンティブ強化も含めて引き続き取り組む。」と明記されており、ジェネリック医薬品は今後も数量シェアの拡大が続くものと見込まれます。その一方で、2年に1回としてきた薬価改定を2021年度から毎年実施する方針が了承され、価格の引き下げ圧力が増すなど厳しさも見えてきております。

このような事業環境の中で、当社グループは高品質で安価な輸入原薬を提供することに主眼をおいて、医薬品原料である原薬の輸入販売を行うとともに、注射剤を中心とした医薬品製剤の開発・製造・販売を行い、原薬の調達から製剤までの一貫した製造が可能な体制のもと、国内外の医薬品メーカーと幅広く取引を実施しております。また、自社開発品の製造・販売並びに国内大手メーカー等からの製造受託を通じて、ジェネリック医薬品を中心に医薬品業界における多様なニーズに対応できる事業展開を行っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,881百万円(前年同期比8.8%減)、営業利益107百万円(前年同期比31.1%減)、経常利益123百万円(前年同期比19.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益57百万円(前年同期比8.7%減)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### 原薬販売事業

原薬販売事業におきましては、アルキル化剤や催眠鎮静剤、抗不安剤等で販売が増加したものの高脂血症用剤やその他の腫瘍用剤が在庫調整による需要減や競合他社の参入により販売が減少したことで、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,204百万円(前年同期比5.7%減)となりました。一方でセグメント利益は売上構成の変化により299百万円(前年同期比13.4%増)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高191百万円(前年同期比0.6%減)を含んでおります。

#### 医薬品製造販売事業

医薬品製造販売事業におきましては、一部製品の薬価改定前の在庫調整や受注数量減少等があったため売上高は868百万円(前年同期比14.5%減)、セグメント損失は136百万円(前年同期は90百万円の損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

総資産は20,296百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,791百万円減少いたしました。これは主に、商品及び製品が380百万円増加した一方で、現金及び預金の減少393百万円、受取手形及び売掛金の減少1,783百万円等があったことによるものであります。

負債は7,070百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,608百万円減少いたしました。これは主に、電子記録債務の増加90百万円があった一方、支払手形及び買掛金の減少728百万円、未払法人税等の減少224百万円、および未払金を主としたその他流動負債の減少745百万円があったことによるものであります。

純資産は13,226百万円となり、前連結会計年度末と比べ182百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益57百万円の計上による増加があった一方、配当金支払による減少237百万円によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末より4.5ポイント増加し、65.2%となっております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の連結業績予想につきましては、2019年8月8日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,865,392	4,472,289
受取手形及び売掛金	4,783,366	3,000,046
電子記録債権	2,611,499	2,673,596
商品及び製品	945,193	1,325,240
仕掛品	104,862	247,015
原材料及び貯蔵品	491,915	378,401
その他	532,828	520,208
貸倒引当金	△10,663	△340
流動資産合計	14,324,394	12,616,458
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,727,729	4,727,729
減価償却累計額	△1,573,758	△1,622,899
建物及び構築物(純額)	3,153,970	3,104,830
機械装置及び運搬具	3,409,426	3,431,409
減価償却累計額	△1,017,799	△1,071,677
機械装置及び運搬具(純額)	2,391,627	2,359,732
工具、器具及び備品	1,070,873	1,074,678
減価償却累計額	△891,433	△911,245
工具、器具及び備品(純額)	179,439	163,433
土地	1,761,774	1,761,774
建設仮勘定	—	3,750
有形固定資産合計	7,486,812	7,393,519
無形固定資産		
その他	82,803	77,691
無形固定資産合計	82,803	77,691
投資その他の資産		
投資有価証券	99,534	96,692
繰延税金資産	60,670	69,837
退職給付に係る資産	20,681	26,048
その他	13,506	16,321
投資その他の資産合計	194,393	208,899
固定資産合計	7,764,009	7,680,110
資産合計	22,088,404	20,296,568

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,256,441	1,527,626
電子記録債務	193,370	283,743
短期借入金	850,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	303,632	321,332
未払法人税等	336,588	112,295
賞与引当金	45,434	104,419
その他	1,022,819	276,855
流動負債合計	5,008,286	3,476,272
固定負債		
長期借入金	3,345,676	3,265,343
繰延税金負債	21,976	22,493
役員退職慰労引当金	91,575	93,979
退職給付に係る負債	109,083	112,622
その他	102,807	99,812
固定負債合計	3,671,117	3,594,251
負債合計	8,679,403	7,070,524
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	522,277	522,277
資本剰余金	205,828	205,828
利益剰余金	12,649,945	12,469,670
自己株式	△293	△293
株主資本合計	13,377,757	13,197,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,926	31,222
繰延ヘッジ損益	△2,683	△2,661
その他の包括利益累計額合計	31,242	28,561
純資産合計	13,409,000	13,226,044
負債純資産合計	22,088,404	20,296,568

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
売上高	3,161,097	2,881,738
売上原価	2,387,331	2,184,701
売上総利益	773,765	697,036
販売費及び一般管理費	617,712	589,538
営業利益	156,052	107,497
営業外収益		
受取利息及び配当金	912	988
為替差益	—	13,115
受取手数料	3,330	406
補助金収入	4,409	3,885
その他	1,977	4,927
営業外収益合計	10,629	23,324
営業外費用		
支払利息	4,107	6,892
為替差損	8,818	—
その他	11	646
営業外費用合計	12,938	7,538
経常利益	153,744	123,284
特別利益		
販売権譲渡益	—	36,591
特別利益合計	—	36,591
税金等調整前四半期純利益	153,744	159,875
法人税、住民税及び事業税	91,147	109,638
法人税等調整額	△316	△7,200
法人税等合計	90,830	102,437
四半期純利益	62,913	57,438
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	62,913	57,438

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	62,913	57,438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,145	△2,703
繰延ヘッジ損益	2,077	22
その他の包括利益合計	14,223	△2,680
四半期包括利益	77,136	54,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,136	54,757
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	原薬販売事業	医薬品製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,144,563	1,016,533	3,161,097	—	3,161,097
セグメント間の内部売上高 又は振替高	192,849	—	192,849	△192,849	—
計	2,337,412	1,016,533	3,353,946	△192,849	3,161,097
セグメント利益又は損失(△)	264,296	△90,589	173,707	△17,654	156,052

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△17,654千円には、セグメント間消去1,458千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△112,618千円、及びその他の調整額93,505千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用等であります。その他の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に対する経営指導料支払額の消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	原薬販売事業	医薬品製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,012,772	868,966	2,881,738	—	2,881,738
セグメント間の内部売上高 又は振替高	191,622	—	191,622	△191,622	—
計	2,204,394	868,966	3,073,360	△191,622	2,881,738
セグメント利益又は損失(△)	299,635	△136,912	162,722	△55,224	107,497

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△55,224千円には、セグメント間消去△25,621千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△115,909千円、及びその他の調整額86,306千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用等であります。その他の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に対する経営指導料支払額の消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。